

# 全農わかほ会通信

(旧全農全国本部OB会通信)

第227号

令和7年1月1日



2025年新年のご挨拶

全農わかほ会会長 榎本 健蔵

会員の皆様、明けましておめでとうございます。新しい年を迎え気持ちを新たにされていることと思います。

さて、私は昨年4月19日の全農わかほ会役員会において、吉永会長の後を引き継ぎ会長に選任されました榎本健蔵です。2025年新年にあたりご挨拶申し上げます。

これまで、全農わかほ会(旧全農全国本部OB会)では、吉永会長の下、第1段・第2段の改革に取り組み、昨年4月19日の総会で残された課題であった①OB会の名称の変更、②OB会事務所の移転、③①・②に伴う規約の変更、④本部役員体制の変更が決議され一連の改革を終了しました。今回の本部役員体制の変更では、長年(6年～10年)役員を務められた7名が退任され、新たに選任された3名を加え14名から10名の体制となり、比較的全農わかほ会員としての経験が短い役員構成となりました。全農わかほ会という新たな名称の元、フレッシュな感覚で互いに意見を出し合いながら新たなステージに会を盛り上げていきたいと考えています。具体的には以下の3点を重点的に取り組んでいきたいと思っています。

## (1) 会員相互の交流を促進

ホームページのリニューアルに伴い、本部・支部だより・部門会だより・同期会だよりが、活動状況をビジュアルに情報提供できるようになっています。新型コロナウイルスが5類に移行し、特に部門会や同期会も積極的に開催されるようになり、懐かしい顔や他部門・他年代の活動を知ることで刺激を受け部門間・同期間の交流のきっかけを増やして行きたいと考えており、積極的な投稿をお願いします。特に支部だよりでは、支部独自の親睦旅行や懇話会等に加えて、有志の皆様による勉強会や講演会の案内、美術部OBによる個展の報告など、情報交換の場としても活用していただいております。ホームページを通じて会員相互の交流を促進していきます。なお、現在のホームページはスマホでも閲覧できるようになっています。ホームページの閲覧方法については、改めて別ページに記載しています。

## (2) 新入会員の勧誘促進(部門会、同期会、特に女性会員)

近年全農退職者の減少に加え、退職者全員の入会を果たせていません。会活動の活性化を図るためにも一層の入会促進を図ることが喫緊の課題です。改革の取り組みの一環として入会のメリットを明確にした退職者用の入会説明資料を作成しましたが、それを個別に説明する機会が少ない現状にあります。そのため部門会や同期会も活用して説明する機会を増やしていきたいと考えています。2022年度から入会資格の「全農20年以上勤務要件」を無くしていることも情報として広まっていないので、併せて情報発信に努め、新入会員の獲得拡大を図ります。

## (3) 運営ルールの明確化

会名称の変更や事務所移転に伴い規約を変更しましたが、大阪支部等からの指摘もあり、改定が不十分な箇所がありました。また東京支部の規約がなく、本部規約を準用していたこと、長年の慣行で予算運用していたことが明らかになり、本部・東京支部の運営ルールの明確化を図ります。

こうした取り組みを2025年は重点的に取り組めますが、会員各位におかれましても全農わかほ会運営に対する建設的な提案・意見を是非お願いします。

2025年も会員の皆様にとって、健康で心豊かな一年になりますよう心からお祈り申し上げ、ご挨拶とします。

以上

## 副会長就任ご挨拶



全農わかほ会副会長 藤本 玉枝

このたび副会長の大役を気楽に引き受けてしまった藤本玉枝です。  
日が経つにつれ、あまりの無知さに大変とまどってはいますが、皆が楽しく参加できる「全農わかほ会」の一助になれば良いと考えています。

私は1968年(昭和43年)全購連に入会、総合企画室、管財課と管理部門に配属されました。

1986年園芸部門秋葉原の朝風ビルへ。歓迎会でAさんに「藤本さんは僕に下さい」と言われ、園芸の仕事、情報の書き方等を指導してもらいました。言われた当初は「目が点」の思いでしたが、全農職員だけでなく、経済連の方々との付き合い方、どこへでも遊びに行ってしまう行動力が身に着いたのかもしれない。

開場された陸の孤島の大田市場でも経済連、県の方との交流。

通勤は遠かったけれど、2004年平塚の営農技術センター、帰りは「東海道友の会」ボックスシートで一杯。

2008年北戸田の東京青果センター。

施設研修で北海道から熊本の原種豚場まで、仕事の一環として行かせてもらいました。

全農は先輩達の頑張りもあり、民主的な大変働きやすい職場でした。

仕事以外ではスキー部、テニス部、神宮外苑での全国野球大会、日本青年館での宿泊といろいろ思い出します。大手町界限も様変わりしました。

古い良いものを残しつつ新しい時代にあった変革が大切なのでしょう。

全農の良いところを継承しつつ、新しい組織、職場、仕事の仕方。そんな場に居合わせたことが私の誇りでもあります。

「全農わかほ会」では、会員皆様の健康と交流で新しい風が吹くことを願っています。  
以上

## 福岡支部長就任ご挨拶



全農わかほ会福岡支部長 濱崎 静雄

令和6年度の支部総会において、支部会員の皆様の承認を得て福岡支部長を務めることになりました。前任の湯地さんと同様に支部幹事会メンバーとともに円滑な支部運営に努力してまいります。

私の略歴ですが、1975年入会、本所・東京で肥料農薬、大阪・福岡・名古屋・本所で資材、茨城県本部での業務、レンゴー(株)に転籍、嘱託勤務を含め65歳まで勤務し、故郷の福岡に戻りました。退職を機に先輩の誘いもあり、即入会いたしました。

先輩からの支部幹事就任の依頼があり、断る積極的な理由もなく承諾してから5年目になり、成り行きで支部長になった次第です。

福岡支部では総会・秋季親睦旅行・年末懇親会の出欠確認時に近況報告を行ってもらい、会員の皆様に報告しています。催しを欠席された方を含め、お互いの元気を確かめることを楽しみにされています。このことは継続していきたいのですが、75歳以上の会員比率が66%(96名)となり、各行事への参加者数が、コロナ禍以前と比べると大幅に減少しています。また、新規入会者も直近4年間で4名に留まっており、支部幹事の担い手不足も深刻です。こうした状況の中で、これまでの活動の継続と会員の親睦交流を行うか、知恵を出して活動してまいります。

個人的活動としては、町内会長、自治会役員等地域活動に取り組んでいます。令和6年11月に開催した「まつり雁の巣」(秋祭り)と雁の巣の地域を紹介します。祭りは、来場者約1,000名、仮設ステージ(バンド演奏・ヒップホップダンス・ストリートダンス・日舞等)、仮設店舗20件で行いました。開催にあたっては、保健所食品係への届け出・消防署への届け出・国交省海の中道公園事務所への敷地使用許可申請等、祭り開催には大変な労力が必要でした。「国交省海の中道公園事務所」に使用許可申請した際に、昭和40年代にはMP(Military police)がヘルメットを被り警備していたことを思い出しました。雁の巣・海の中道を紹介して結びと致します。

昭和11年に羽田に次ぐ日本で2番目の国際飛行場が雁の巣に建設されました。1,700m、1,300mの2本の滑走路を擁し、博多海軍航空隊が創設され、水上飛行機も飛んでいました。戦後、海軍航空隊跡に米軍が駐留し「キャンプ博多」と呼ばれていました。朝鮮戦争当時は第一線の米空軍基地として使用されました。現在のリゾートエリア(ルイガンホテル(旧海の中道ホテル))付近に司令部の中枢があり、国営公園内の野外劇場やサンシャインプール付近に将校宿舎がありました。昭和47年に全面返還になり、跡地利用の検討の結果、優れた自然景観を最大限に生かした公園整備を行うことが決まり、国営海の中道公園として現在に至っています。司令部の中枢の面影が感じられる場所は、許可申請に行った国交省海の中道公園事務所の中庭あたりです。飛行機で福岡にお越しの際には、玄界灘からの着陸コースの場合、晴れていれば着陸3分ほど前に白砂青松の海の中道が眼下にみられるはずです。空中散歩をお楽しみ下さい。

以上

ホームページへの投稿をお待ちしています！！

会員の皆様へのお願い

ホームページは会員相互のコミュニケーションの場として、様々なコンテンツを掲載しています。会員の皆様の閲覧・投稿をお待ちしています。

投稿は支部幹事経由でも構いませんし、会のメールアドレス(下記)宛に直接投稿いただいても構いません。職場OBや同期OBの集いなど、是非ご投稿ください。

全農わかほ会メールアドレス:jzenkoku@zennoh-ob.jp

全農わかほ会ホームページは、  
ホームページアドレス(URL) <https://www.zennoh-ob.jp/>から入ります。

また、ブラウザの検索サイトで「全農わかほ会」で検索できます。パソコンだけでなく、スマホからも閲覧できるように設定しています。

ホームページの閲覧には、

ユーザー名(ID):z1954  
パスワード:zennoh72@OBが必要です。

※OB(パスワードの@マーク以下)は半角英字の大文字、その他は全て半角英数の小文字です。なお、ID、パスワードは会員のみに表示しておりますので、取り扱いにご注意ください。



2024.11.11	東京支部秋の懇親会を主催・変更により公開しました。
2024.11.11	令和6年度名古屋支部林の塚しを主催・変更により公開しました。
2024.11.08	1979年同朋会 第10回たわし会ゴルフコンペを主催OB会により公開しました。
2024.11.08	福岡支部 令和6年度第3回ゴルフコンペを主催・変更により公開しました。
2024.11.07	お悔やみを更新しました。



2024.07.08	お悔やみを更新しました。
2024.07.05	7月5日、入会情報を更新しました。
2024.07.05	福岡支部 令和6年度第1回ゴルフコンペを本部・支部だよりにより公開しました。

上はPCトップ、右はスマホトップ画面

## 2025年長寿プレゼントについて(お知らせ)

2022年4月開催第51回通常総会の決議により従来の賀寿祝い規定を改定し、2023年から長寿プレゼントを設定しています。以下に内容をご案内します。

### 1. 対象者

2025年1月1日現在を基準とし、その年に満70才、満75才、満80才、満85才を迎える会員

※具体的な生年

70歳:1955年生まれ・75歳:1950年生まれ・80歳:1945年生まれ・85歳:1940年生まれ

### 2. 実施内容

当会は全国農協食品株式会社(以下全農食品という)と基本契約(個人情報保護含む)を結び、同社にギフトカード、申し込みハガキの送付から会員への配送までの実務を委託します。全農食品は、当会から提供された情報を基に上記対象者の皆様へ直接ギフトカード(別添)を1月初めに送付します。併せて当会の趣旨説明文も同封します。

### 3. 対象商品：

(1) 果物、肉類、米等および加工食品など8点(別紙ギフトカード参照)を本部役員会において選定しました。

対象会員の応募状況を踏まえ、商品については原則、毎年見直します。

(2) 対象会員は、送付されてきたギフトカードのなかから商品1点を選択し、同封の申し込みハガキに記入、全農食品へ2月末までに返送していただきます。

(3) 2月末の期限までにハガキが投函(2月末消印有効)されない場合、役員会において事前に選定した商品【ギフトカードAコースの梅干し】を対象者に送付いたします。

(4) 「おまかせ季節の柑橘(ギフトカードHコース)」は、申し込み時期により、商品(産地と品物)が変わります。ギフトカードに記載してある商品の一例の中からいずれかをお贈りいたします。商品をお選びいただくことはできませんのでご注意ください。

### 4. その他

(1) ギフトカードを受領した後の商品に関わるご質問などは全農食品が対応しますので、ギフトカードに記載された「フリーダイヤル(営業時間に留意)」までお問合せください。

(2) 商品発送後、ご不在等で商品を受け取りいただけず返送されてきた場合、果物など傷みやすい商品に限り1回だけ全農食品の負担で再送いたします。

その場合、受取が可能な日を全農食品から、当該会員と確認させていただきます。

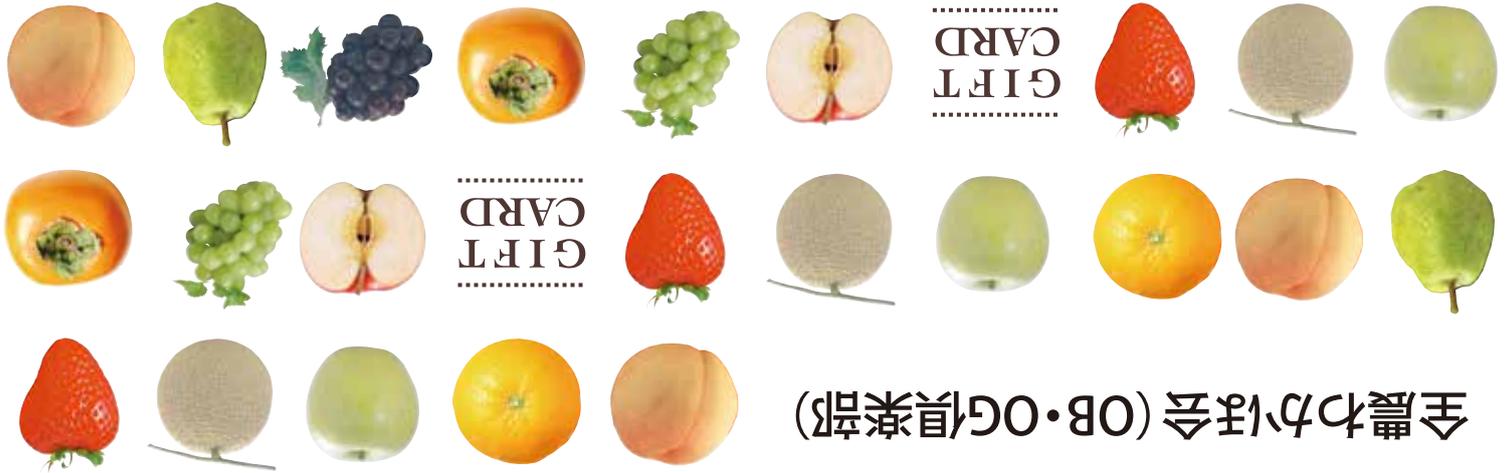
(3) 万一、受け渡しまでに対象会員にご不幸が発生した場合、速やかに全農わかほ会事務局までご一報ください。

以上



※カットはイメージです。プレゼント内容とは関係ありません。

# ZEN-NOH FOODS GIFT CARD



## ■ お申込み方法

お葉書に、ご希望の商品、お申込者、お届け先（お申込者と同一の場合は不要）、お届け希望時間帯をご記入のうえ、ご投函ください。

※このギフトカードの有効期限は2025年2月末日までです。

※商品の発売中止や変更に伴って商品をお送りできない場合は同等以上の商品をお届けすることがありますので予めご了承くださいませよう、お願いいたします。

※商品のお届けには2週間から3週間程かかる場合がございます。予めご了承くださいませよう、お願いいたします。

※お預かりした個人情報につきましては、関係法令を遵守し、厳重に管理、保護し、商品発送に必要な業務目的、アフターサービス、新企画のためのみ使用致します。また、お客様の同意なしに第三者に開示したり、提供する事はございません。

## ■ 商品に関するお問い合わせ先



**全国農協食品株式会社**

**OBG**

直販営業部 営業一課

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-32-10 南新宿SKビル

フリーダイヤル：0120-058-047（受付時間：平日9時から17時まで） FAX：03-3350-2174



ご希望の商品をお選びください。

ご希望の商品をお選びいただき、同封のハガキのコース番号に○をつけてください。  
ハガキのその他必要事項をご記入の上、ご投函ください。

## A course 山形牛モモすき焼き用

山形特有の地域性を活かして育てた山形牛のモモ肉をスライスしました。モモ肉はあっさりとした味わいの中に肉本来の旨味とコクが楽しめます。

■ 内容量:300g

冷凍



## B course かねふくの旨だれ入り特用切子明太子

かねふく特製の旨だれをたっぷりいれてありますので、より深みのある味わいになっています。

■ 内容量:280g×3

冷凍 アレルゲン 小麦



## C course 秋田県産あきたこまち 5kg

香り・うまみ・甘味・粘りのバランスが良く、粒感が魅力。冷めてもおいしいお米です。

■ 内容量:5kg

常温 ※お届けまで3週間より遅れる場合がございます。



## D course 富山県産黒部山麓コシヒカリ 5kg

立山連峰から流れる黒部川流域の大自然に育まれたお米は、つやと粘りが違います。

■ 内容量:5kg

常温 ※お届けまで3週間より遅れる場合がございます。



## E course 紀南一番(白干し)

樹上で完熟した大粒南高梅です。

■ 内容量:  
800g(塩分7%)

常温



## F course 松阪牛・国産豚使用ハンバーグ

松阪牛と国産豚の合挽ミンチを使ったハンバーグです。デミグラスソースで煮込まれた、柔らかく食べやすいハンバーグです。

■ 内容量:140g×5

アレルゲン  
冷凍 小麦 卵 乳



## G course 知覧茶セット

鹿児島県を代表する知覧茶です。

■ 内容量:100g×3

常温



## H course おまかせ季節の柑橘

その時期の一番の旬の柑橘をお届けします。

商品一例

- ・鹿児島県産 大将季(不知火枝変わり) 2.4kg
- ・長崎県産 津之輝(みかん) 3kg
- ・熊本県産 テコボン2.5kg
- ・愛媛県産 テコボン2.5kg 等

※上記商品は一例です。  
※種類や玉数は指定できません。  
※お届けまで3週間より遅れる場合がございます。  
※商品のお届けは一回限りです。  
※写真はイメージです

常温



# お悔やみ

(事務局への連絡順)

次の方が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

生田 敏夫	さん	85才	令和5年11月23日	ご遺族 (妻)	生田 タエ子	さん
ご遺族住所			兵庫県宝塚市			
岡本 希八郎	さん	88才	令和5年12月15日	ご遺族 (妻)	岡本 邦子	さん
ご遺族住所			福岡県太宰府市			
斉藤 滋	さん	80才	令和5年12月15日	ご遺族 (妻)	斉藤 洋子	さん
ご遺族住所			埼玉県さいたま市			
山本 威美	さん	87才	令和5年10月9日	ご遺族 (妻)	山本 登代子	さん
ご遺族住所			東京都調布市			
市根井 教久	さん	86才	令和5年10月15日	ご遺族 (妻)	市根井 美智代	さん
ご遺族住所			埼玉県さいたま市			
石川 武徳	さん	83才	令和5年3月29日	ご遺族 (妻)	石川 寛子	さん
ご遺族住所			東京都多摩市			
豊福 哲男	さん	88才	令和5年10月13日	ご遺族 (長男)	豊福 暢史	さん
ご遺族住所			千葉県流山市			
佐藤 滋	さん	89才	令和5年12月7日	ご遺族 (長男)	佐藤 拓也	さん
ご遺族住所			千葉県我孫子市			
丹下 正良	さん	83才	令和5年12月24日	ご遺族 (長男)	丹下 智彦	さん
ご遺族住所			愛知県北名古屋市			
藤渡 勝正	さん	76才	令和5年12月28日	ご遺族 (長男)	藤渡 正一郎	さん
ご遺族住所			佐賀県三養基郡			
斎藤 秀雄	さん	92才	令和5年1月4日	ご遺族 (妻)	斎藤 ツタ子	さん
ご遺族住所			千葉県船橋市			
岩澤 秀朗	さん	71才	令和2年8月9日	ご遺族 (妻)	岩澤 葉子	さん
ご遺族住所			神奈川県茅ヶ崎市			
中本 憲郎	さん	87才	令和6年1月10日	ご遺族 (妻)	中本 シゲ子	さん
ご遺族住所			兵庫県神戸市			
東 哲	さん	78才	令和5年12月26日	ご遺族 (長男)	東 卓	さん
ご遺族住所			愛知県名古屋市			
入江 孝博	さん	93才	令和5年12月20日	ご遺族 (長男)	入江 昭徳	さん
ご遺族住所			福岡県遠賀郡			
大田 忠雄	さん	71才	令和5年7月15日	ご遺族	不明 不明	さん
ご遺族住所			不明			
片岡 親良	さん	89才	令和6年2月2日	ご遺族 (長女)	片岡 昌子	さん
ご遺族住所			神奈川県横浜市			
野原 統行	さん	78才	令和6年2月7日	ご遺族 (妻)	野原 完子	さん
ご遺族住所			福岡県福岡市			
安谷 義人	さん	85才	令和6年1月7日	ご遺族 (次男)	安谷 徹	さん
ご遺族住所			埼玉県さいたま市			
高岡 八郎	さん	83才	令和6年2月7日	ご遺族 (長女)	市川 牧子	さん
ご遺族住所			埼玉県北足立郡			
千葉 とよ子	さん	72才	令和5年8月26日	ご遺族 (長男)	千葉 安由	さん
ご遺族住所			千葉縣市川市			

# お悔やみ

(事務局への連絡順)

次の方が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

野林 俊克	さん	75才	令和6年2月28日	ご遺族 (妻)	野林 純子	さん
ご遺族住所			東京都東久留米市			
足立 一郎	さん	87才	令和6年2月24日	ご遺族 (長男)	足立 一英	さん
ご遺族住所			千葉県千葉市			
大園 拓郎	さん	81才	令和6年3月7日	ご遺族 (妻)	大園 文子	さん
ご遺族住所			東京都清瀬市			
住吉 達男	さん	83才	令和5年8月13日	ご遺族 (妻)	住吉 トモ子	さん
ご遺族住所			東京都町田市			
益田 英毅	さん	82才	令和6年3月13日	ご遺族 (妻)	益田 英子	さん
ご遺族住所			東京都葛飾区			
谷田部 勝男	さん	82才	令和6年3月23日	ご遺族 (妻)	谷田部 萬壽子	さん
ご遺族住所			千葉県船橋市			
中島 毅	さん	79才	令和5年11月5日	ご遺族 (妻)	中島 みゆき	さん
ご遺族住所			埼玉県越谷市			
中谷 明雄	さん	70才	令和4年8月3日	ご遺族 (妻)	中谷 裕子	さん
ご遺族住所			東京都八王子市			
伊藤 勲	さん	85才	令和4年1月27日	ご遺族 (妻)	伊藤 紀美子	さん
ご遺族住所			埼玉県富士見市			
石田 民夫	さん	85才	令和4年1月9日	ご遺族 (妻)	石田 せつ子	さん
ご遺族住所			茨城県牛久市			
吉澤 丞	さん	86才	令和6年1月29日	ご遺族 (長男)	吉澤 元	さん
ご遺族住所			栃木県宇都宮市			
中村 光利	さん	80才	令和6年4月12日	ご遺族 (妻)	中村 ヒロ子	さん
ご遺族住所			愛知県春日井市			
野村 道人	さん	89才	令和6年3月13日	ご遺族 (妻)	野村 寿子	さん
ご遺族住所			千葉県市川市			
佐々木 廣	さん	77才	令和6年4月13日	ご遺族 (妻)	佐々木 佳子	さん
ご遺族住所			神奈川県藤沢市			
井上 彌	さん	86才	令和6年5月9日	ご遺族 (妻)	井上 榮子	さん
ご遺族住所			茨城県牛久市			
宇津木 良久	さん	91才	令和6年4月27日	ご遺族 (長男)	宇津木 大五	さん
ご遺族住所			千葉県千葉市			
西山 静	さん	63才	令和6年4月23日	ご遺族 (実弟)	西山 卓	さん
ご遺族住所			埼玉県所沢市			
安河内 健次	さん	74才	令和6年5月10日	ご遺族 (妻)	安河内 恭子	さん
ご遺族住所			東京都杉並区			
山内 良信	さん	82才	令和6年5月10日	ご遺族 (妻)	山内 史江	さん
ご遺族住所			大阪府三島郡			
沢田 衛	さん	92才	令和6年5月19日	ご遺族 (次男)	沢田 友孝	さん
ご遺族住所			群馬県太田市			
松尾 勝則	さん	70才	令和6年5月31日	ご遺族 (妻)	松尾 美和子	さん
ご遺族住所			佐賀県三養基郡			

# お悔やみ

(事務局への連絡順)

次の方が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

佐藤 三重子	さん	93才	平成30年	ご遺族	不明	不明	
ご遺族住所			不明				
山下 巧	さん	87才	令和6年6月9日	ご遺族	(妻)	山下 邦子	さん
ご遺族住所			福岡県春日市				
大畑 正昭	さん	92才	令和6年6月23日	ご遺族	(長女)	鈴木 陽子	さん
ご遺族住所			広島県広島市				
玉腰 徳一	さん	90才	令和6年7月6日	ご遺族	(長男)	玉腰 優剛	さん
ご遺族住所			愛知県名古屋市				
岸 銀次郎	さん	84才	令和6年7月1日	ご遺族	(妻)	岸 道子	さん
ご遺族住所			千葉県船橋市				
古賀 和俊	さん	77才	令和6年7月15日	ご遺族	(妻)	古賀 紀子	さん
ご遺族住所			福岡県福岡市				
佐竹 義男	さん	70才	令和6年8月15日	ご遺族	(長男)	佐竹 義貴	さん
ご遺族住所			茨城県龍ヶ崎市				
伊佐 泰治	さん	96才	令和6年8月22日	ご遺族	(長女)	伊佐 利恵子	さん
ご遺族住所			東京都東久留米市				
吉成 幸子	さん	87才	令和6年8月25日	ご遺族	(実妹)	郡司 充子	さん
ご遺族住所			千葉県佐倉市				
植松 久男	さん	76才	令和6年8月20日	ご遺族	(長男)	植松 友和	さん
ご遺族住所			愛知県名古屋市				
加藤 二郎	さん	88才	令和6年8月20日	ご遺族	(妻)	加藤 榮子	さん
ご遺族住所			千葉県我孫子市				
古屋 龍彦	さん	72才	令和6年9月20日	ご遺族	(長男)	古屋 賢太郎	さん
ご遺族住所			東京都清瀬市				
村上 親司	さん	74才	令和6年10月9日	ご遺族	(長男)	村上 樹司	さん
ご遺族住所			岐阜県中津川市				
有坂 欣二	さん	81才	令和6年9月22日	ご遺族	(長女)	有坂 潤子	さん
ご遺族住所			栃木県下都賀郡				
尾崎 進	さん	89才	令和6年10月11日	ご遺族	(妻)	尾崎 榮子	さん
ご遺族住所			千葉県八千代市				
小瀬 恵輔	さん	82才	令和6年10月22日	ご遺族	(妻)	小瀬 和子	さん
ご遺族住所			神奈川県足柄上郡				
中澤 邦春	さん	91才	令和6年10月20日	ご遺族	(妻)	中澤 康子	さん
ご遺族住所			東京都日野市				
萩中 周治	さん	94才	令和6年10月7日	ご遺族	(妻)	萩中 資子	さん
ご遺族住所			埼玉県狭山市				
福田 文男	さん	93才	令和6年11月1日	ご遺族	(長男)	福田 秀敏	さん
ご遺族住所			東京都世田谷区				
中井 忠利	さん	84才	令和6年11月13日	ご遺族	(妻)	中井 恵子	さん
ご遺族住所			神奈川県横浜市				
甲斐 義朗	さん	91才	令和6年2月8日	ご遺族	(長男)	甲斐 英司	さん
ご遺族住所			愛知県海部郡				
佐藤 一夫	さん	71才	令和6年11月17日	ご遺族	(長女)	佐藤 由梨	さん
ご遺族住所			秋田県北秋田市				

# 新 入 会 員

2024年1月1日発行「全農全国本部OB会通信226号」掲載以降、下記の方々が入会されました(50音順)。

氏 名	最後の勤務部署または入会時の勤務先・役職
井尻 雅之	全農チキンフーズ株式会社 営業本部長
伊藤 達朗	宮崎くみあいチキンフーズ株式会社 常務取締役
落合 成年	参事
鍵谷 慎	全農健康保険組合 常務理事
上岡 正治	JA高崎ハムファクトリー株式会社 常務取締役
神田 芳明	公益財団法人農業倉庫基金 常務理事
久保田 治己	株式会社全農ビジネスサポート 代表取締役社長
小林 新	朝日アグリア株式会社 執行役員
坂本 邦弘	JA全農ミートフーズ株式会社 常勤監査役
清水 巖	畜産総合対策部 畜産販売課
高橋 圭一	くらし支援事業部 品質・表示管理室
田村 宣浩	株式会社全農ハイパック 取締役企画管理部長
仲村 一彦	全農物流株式会社 常勤監査役
野口 栄	代表理事理事長
樋口 昭彦	協同乳業株式会社 監査役
細野 浩司	一般社団法人日本施設園芸協会 開発部長
前崎 恵子	JA全農ミートフーズ株式会社 東日本営業本部事業管理部総合課長
松谷 寿悦	監事監査事務局
真中 好美	全農健康保険組合
三角 哲也	本所 耕種資材部 生産資材流通対策課 広域物流推進室

※住所・電話等は会員名簿の原則廃止に基づき、誌上では掲載しません。  
住所・電話番号などが必要な方は個人情報保護規則に則り、事務局まで所定の手続きをお願いします。

# 本 部 ・ 支 部 だ よ り

## 本 部

### 第53回通常総会

1. と き	2024年4月19日(金)
2. と ころ	J Aビル32階 3210会議室
3. 参加者	12名

議決権行使数764票(実出席者12名含む) 投票率44.1%  
1号議案～7号議案はすべて原案通り可決されました。

議案ごとの明細は以下のとおりです。

今総会では電磁的方法での議決権行使を108名の方が実施してくださいました。今後より多くの方が電磁的方法で議決権を行使くださいますよう、よろしくお願いいたします。

議決権行使数 ; 764 (出席者12名含む)

44.1%

	賛成			反対			棄権			有効投票数			
	はがき	QR	計	はがき	QR	計	はがき	QR	計	はがき	QR	計	
第1号議案	650	107	757	0	1	1	5	0	5	655	108	763	(無効票:1)
第2号議案	652	108	760	0	0	0	3	0	3	655	108	763	(無効票:1)
第3号議案	636	101	737	11	4	15	9	3	12	656	108	764	
第4号議案	649	108	757	0	0	0	7	0	7	656	108	764	
第5号議案	647	107	754	2	1	3	5	0	5	654	108	762	(無効票:2)
第6号議案	651	107	758	0	1	1	3	0	3	654	108	762	(無効票:2)
第7号議案	651	107	758	1	1	2	3	0	3	655	108	763	(無効票:1)

※第3、4号議案は全農全国本部OB会規約6の(3)の「規約の改廃」に基づき、出席会員(投票数)の2/3以上の同意が必要

- 第1号議案 第52期(2023年度)事業報告について
- 第2号議案 第52期(2023年度)決算・監査報告について
- 第3号議案 OB会名称の変更および規約の改定について
- 第4号議案 OB会事務所の移転および規約の改定について
- 第5号議案 基金の取り崩しについて
- 第6号議案 第53期(2024年度)事業計画について
- 第7号議案 任期満了に伴う役員選任について

## 2024年度総会に寄せられた意見と執行部の見解

### ●第1号議案 第52期(2023年度)事業報告について

意見・要望・質問等	見解・考え方等
「長寿祝い」の対象は人生100年時代を見据え、「75歳から5歳刻みで100歳まで」と改定すべきでは。賀寿祝いの廃止もあり、後期高齢者が元気で長生き、充実した人生となるよう祈念して。	今後の収支状況やご意見などを踏まえて検討してまいります。
事業報告は協議事項ではなく、賛否は不要と考えます。	前年度総会で承認された事業計画・予算の執行結果である事業報告・決算を承認いただく議案のため、賛否の意思表示を求めています。

### ●第2号議案 第52期(2023年度)決算・監査報告について（意見等特になし）

### ●第3号議案 OB会名称の変更および規約の改定について

意見・要望・質問等	見解・考え方等
第3号議案は、反対はしませんが棄権します。以前メールしましたが、第2の人生とは言え「わかほ」は語彙的に馴染みません。ただし私が提案した「穰(ひつじ)田」の言葉は人口に膾炙して無いかもしれません。	提案にあたり選択肢②、③とも選択肢として個別の意味合いがあります。②は県本部OBも含む全農全体のOB会と取られかねない懸念があるため③に全国を挿入した案を用意しました。③では旧名称から本部の文字を取っただけのため、名称を変える必要性に疑問を持たれることが予想されました。また、アンケートでは「OB表記に親しみがある」との声もあり、提案理由(2)(3)(5)にこれらの想定やご意見をふまえて記述しました。今回提案した選択肢それぞれが持つ意味、理由が十分に伝わらず、混同されたことについては、今後、会員各位に向け様々な提案を行う際、その内容が伝わるよう丁寧にすすめます。
名称変更一②全農OB会③全農全国OB会の選択肢を合わせれば①全農わかほ会の選択肢を超える支持率。提案理由一(2)(3)違和感をおぼえる。	
わかほとOBはイメージが合わない。	
名称はあえて括弧書きは要らないと考える。それならば、全農OB・OG倶楽部にすれば良い。全農わかほ会に変えるなら、通称の但し書きは不要である。	事前アンケートでは「わかほ会」はOB・OG会とはわからないとのご意見が多数あり、括弧書きは「全農わかほ会」の名称の後に付け加えて、通称として表示することもできる規定としております。
会の名称変更について、意味不明で反対です。提案理由(1)の改革について具体的説得力ある説明がない。役員会資料の令和5年度退職予定者アンケートにもあるようにOB会通信やHPで一番興味があるのは訃報だとあるように今のままではOB会は消滅を座して待つ状況かと思えます。柔軟な発想を求めるならば全国の会員からの提案を積極的に聞くと同時に先ず失敗を怖れずやってみる勇気が必要です。現役時代と同じ考えでは寂しい(出る杭は打たれてきましたが.....)。高齢者こそ恥はかきすでも元気で良いのでは。	今後議案の提案にあたっては、具体性のあるものとなるよう努めます。また、会員からの提案等については、今後の運営の参考にさせていただきます。 なお、従来からの事務所の電話・FAX番号、住所、メールアドレスの公開に加えて、2022年11月からは会員からのご意見やご提案、ご質問等を随時お聞きするよう、ホームページに「問い合わせ」のページを設けておりますので、こちらも是非ご活用ください。

●第4号議案 OB会事務所の移転および規約の改定について

意見・要望・質問等	見解・考え方等
将来的には事務所は置かずPC上でバーチャル局にしてはどうか。	引き続きペーパーレス化に取り組むとともに、資料・資材等の保存方法・保管場所や事務局員の負担なども考慮しながら長期的視点から検討してまいります。
OB会事務所の移転による経費節減は良いですね。	

●第5号議案 基金の取り崩しについて

意見・要望・質問等	見解・考え方等
基金の取り崩しについては、基本原則、考え方等を整理・提案・決定されることを希望します。	2017(H29)年3月開催第46回通常総会において、基金の取り崩しに当たっては、今後収入財源(主に終身会費および受取利息)の減少等により、一般会計が毎年度350～380万円の赤字となることが想定されたことから、財源不足を補い、一般会計予算の収支バランスをとるため、1千万円の基金を取り崩し、一般会計への繰り入れをご承認いただき実施しました。以降、次年度の予算を検討する際に次期繰越金がマイナスとなる見通しの場合、向こう3年間程度は取り崩す必要がない額として1千万円の取り崩しを基本としております。
5号議案はこの管理方式に反対。	

●第6号議案 第53期(2024年度)事業計画について

意見・要望・質問等	見解・考え方等
国債1億円は、運用益が見込める投資信託等に比重を置いた方が良いのではないかと思います。	運用益が見込める金融商品は、元本を割り込むなど相応のリスクを伴うものが大半ですので、途中解約しない限り元本割れしない国債で運用しております。
予算書の事務局費備考欄に記入があると分かりやすいと思います。	事務局員2名の昼食費、通勤費、傷害保険料です。次年度からは明示します。
年1回地方開催のOB交流会を札幌・仙台・大阪・福岡で回して出来たら良いと思います。ゴルフ大会等、グランドゴルフも可。3年毎に開催でもよい。	開催の事務局体制や予算規模などを含め、可能性について検討してまいります。

●第7号議案 任期満了に伴う役員選任について

意見・要望・質問等	見解・考え方等
東京支部の役員兼務は大反対！！	今後役員会等で東京支部の役員のあり方について引き続き検討してまいります。

●活動全般について

意見・要望・質問等	見解・考え方等
支部は退会したのですが、不都合はありますか？	主にホームページやOB会通信等情報提供を行っている本部での不都合はありませんが、支部ではゴルフ、懇親会など様々な活動が行われており、一人でも多くの会員参加が基本のため、可能な限り支部会員となられ活動に参加されることを希望します。
個人的には手帳を使用しておらず、全会員配布も希望者のみとしてはいかがでしょう。	現在OB会通信と同時に全農手帳を発送しておりますが、希望を取り封入物を区分けする手間やコスト等の増を考慮し、当面現行通りとさせていただきます。
物故者の情報について、せめて年2回届くようお願いします。	ホームページに逐次お悔やみ情報を掲載しておりますので、ホームページを参照願います。
雑収入の主だった物が分かりませんでした。	全農からの助成金550万円です。事業計画の備考欄を参照願います。
電磁的方法の導入など新しい試みは了としますが、このハガキによる議決権行使の方法も継続を希望します。	当面電磁的方法とハガキによる議決権行使の両方を採用しますが、2024年10月から郵便料金が3割程度の値上げが予定されており、郵送料節減のためにも可能な限り電磁的方法での議決権行使をお願いします。
お悔やみ情報に、せめて支部、住所(市町村まで)を記載するよう検討してください。	ホームページのお悔やみ情報に、ご遺族の了解を前提に住所(市町村まで)を記載する方向で検討します。住所の記載があれば支部は不要と考えます。
私は76歳ですが75歳の時に長寿プレゼントを頂いていません。どうなっているのでしょうか？	長寿プレゼントは2023年に新規設定され、2023年の長寿プレゼントは75歳になる1948年生まれの方が対象になっております。それ以外の方は対象になっておりません。
入会時に支部を選択した(または指定された)かどうか記憶がありませんが、必須項目だったので、ひとまず現住所(姫路)から最寄の大阪支部として入力しました。相違あれば申し訳ありません。	届出住所により便宜上支部の区分を行っております。2025年定年等退職予定者からは事前説明資料に支部のエリア(都道府県)を明示します。

●活動全般について

意見・要望・質問等	見解・考え方等
OB会通信226号はパソコンで拝受しましたが、カラーの効果で鮮明でした。多くの会員恐らく七割相当はパソコンなり携帯を使用しているので紙の通信は廃止して郵送料、印刷費を合理化すべきです。合理化で捻出された金額は財政が非常に厳しい支部助成の増額を要請します。なお、全農手帳と併せて通信を郵送している事が障害であれば手帳の廃止は止むを得ません。ご検討ください。	ホームページを常時閲覧している方の実数がかみきれませんので、当面の郵送を継続する予定ですが、将来に向けて紙媒体の廃止を検討してまいります。
①本部・東京支部の組織運営を変更すべし。 ②収支管理方法を再検討されたし。 ア. 本部・東京活動費の自己負担額の増額 イ. 慶弔引当金の新設(又は年会費徴収) イ. については現監事の見解を求めます。	①今後役員会等で東京支部の役員のあり方について引き続き検討してまいります。 ②予算は役員会で資産をふまえ事業計画を協議のうえ計上され、収支管理を行っていますが、収支管理方法については必要に応じて見直してまいります。現状では一般会計の中で予算に基づき現金収益・現金費用処理されており、その内容・規模等を踏まえても、敢えて引当金等の科目を設ける必要はないと考えます。
新事務所のTEL、FAXは変わらないですか？	変更ありません。

●その他

対処する問題について、よく協議され成果をまとめている。役員他関係者のご尽力に感謝します。
これまでのOB会運営改善の取り組み努力に敬意を表します。
課題解決への取り組みを評価します。
名称が変更になってよかったです。全農は女性の働きや力でつながって来たのに、ジジイばかりがえらそうにしている現状は改革すべきです。
全農わかほ会いいですね。
規約の改定等は変革の時をやむを得ないと思います。
名称変更に伴いOB会活動が活性化することを期待します。
会員減の中で運営が大変ですが宜しく願います。
厳しい財政の中、色々工夫されていること敬意を評します。
OB会通信、楽しみにしています。
ご苦労様です。OB会を灯しつづけましょう。
昔の職場の現状の一端が分り、役に立っています。
ホームページを見ました。まずお悔やみコーナーに目が行きました。他のコーナーにも目を向けます。ますますの拡充を楽しみにしています。
物故者、長寿にのる名前を見てなつかしくもあり、寂しくも思える。
解散する時期が迫っていると思う。人生100年時代にOB会はなじまないね。
経費削減は必要であるが、会員名簿は会員の動向を知るにも必要であり、送付廃止には反対です。
先輩、同期生の訃報には心痛みます。諸氏のご健勝を祈念します。

## 札幌支部

### 令和6年度札幌支部総会

1. とき	2024年5月8日(水) 17時30分～20時
2. ところ	おたる別亭
3. 出席者	9名

令和6年度全農OB会札幌支部の総会を上記日程で開催しました。議案は令和5年度活動報告・決算報告及び令和6年度の活動計画・収支計画を中心に協議し満場一致で承認を頂きました。

また、今年度より全農全国本部OB会の名称が「全農わかほ会」に変更されることから、支部規約の改定案も合わせて協議し、承認を頂きました。

今年度の活動計画では、従来札幌中心での懇話会開催を会員が帯広市近郊に4名ほど在住していることから、帯広市内での懇話会開催を企画する予定です。

多くの会員が参加できるよう工夫してまいりますので、支部会員の方はご協力をお願いいたします。



集合写真

総会終了後、小野島支部長の乾杯音頭で懇親会を実施しました。懇親会の場では、会員の皆様からの近況報告を幹事よりご案内させていただきましたが、それぞれ健康状態の不安等が中心の内容となり、高齢化が進んでいることを改めて実感しているところです。

今回の参加者は9名と何時もより少ない状況でしたが、和気あいあいとそれぞれの近況を語りながら懇親の宴を過ごさせていただきました。

参加者の皆様お疲れ様でした。次回は帯広市でお会いしましょう。

【投稿者:阿部 悦夫】

## 令和6年度札幌支部 第1回懇話会

1. とき	2024年7月12日(金)17時30分～19時30分
2. ところ	帯広市 小料理居酒屋 小鉢
3. 参加者	7名

令和6年度の通常総会も無事に終わり、全農OB会も「全農わかほ会」に名称変更して新たなOB会がスタートしました。

札幌支部も今年度の活動計画において、会員皆様との親睦を深める機会として、帯広市近郊に在住されている方々にも参加して頂くため、親睦旅行を兼ねて帯広市内での懇話会開催を実施いたしました。

帯広市近郊に在住されている方は4名ほどおられますが、3名の方が出席して頂き、札幌からも4名が参加して、合計7名での懇話会を開催させていただきました。

懇話会開催にあたり、小野島支部長から帯広市内での開催経緯等を説明し、多くの会員との懇親の場を今後も作っていききたいとのご挨拶の後、乾杯して宴をスタートしました。

初めて参加した宮越義彦さんと青柳敬人さんも交え、会員の自己紹介や欠席者の近況を報告するなど2時間の懇親会はあっという間に終了しました。



集合写真



初参加の宮越義彦さんと青柳敬人さん

札幌支部として札幌市以外での懇話会開催は初めての試みであり、多くの会員と親睦を深める機会として継続していきたいと思います。初参加の宮越義彦さんと青柳敬人さんには、又お会いできる機会を楽しみにしております。

【投稿者:阿部 悦夫】

# 東京支部

## 東京支部第17回総会

1. と き	2024年4月19日(金)
2. ところ	J Aビル32階 3210会議室
3. 参加者	12名

議決権行使数536票(出席者12名含む) 投票率42.6%

1号議案～3号議案はすべて原案通り可決されました。

議案ごとの明細は以下のとおりです。

	賛成			反対			棄権			有効投票数		
	はがき	QR	計	はがき	QR	計	はがき	QR	計	はがき	QR	計
第1号議案	461	70	531	0	0	0	5	0	5	466	70	536
第2号議案	461	70	531	0	0	0	4	0	4	466	70	535 (無効票:1)
第3号議案	461	70	531	1	0	1	4	0	4	466	70	536

今回電磁的方法(上表のQR枠)による議決権行使方式を従来の葉書による方式に加えて採用したところ、70名様から行使いただきました。ありがとうございました。来期はより多くの方が電磁的方法で議決権行使をしてくださいますよう、お願いします。

第1号議案 第16期(2023年度)事業報告について

第2号議案 第16期(2023年度)決算・監査報告について

第3号議案 第17期(2024年度)事業計画について

### 東京支部総会に寄せられた意見と執行部の見解

意見・要望・質問等	見解・考え方等
クラブ活動は良いこととは思いますが。現状の活動は一部の会員に片寄るため見直すべきと思う(額の問題ではない)。	今後できるだけ多くの会員が参加できる企画を役員会等で検討してまいります。
コロナ禍が下火となったところで何か新しい企画をお願いします。	
皆さんが参加できるイベントの企画、よろしくをお願いします。	
東京支部の存在の意味が分からない。	

## 第85回東京支部OB会ゴルフコンペ

1. とき	2024年11月13日(水)
2. ところ	大宮国際カントリー(ときコース・ひばりコース)
3. 参加者	16名

立冬も過ぎたというのに、当日は上着が必要ないほどの少し暑いくらいの快晴に恵まれました。スケジュールが重なる方が多く、参加者は16名と少数でしたが、楽しい一日となりました。慣れない高麗芝グリーンのうち芝の勢いが弱まっていたので、パットに苦戦した方が多かったです。

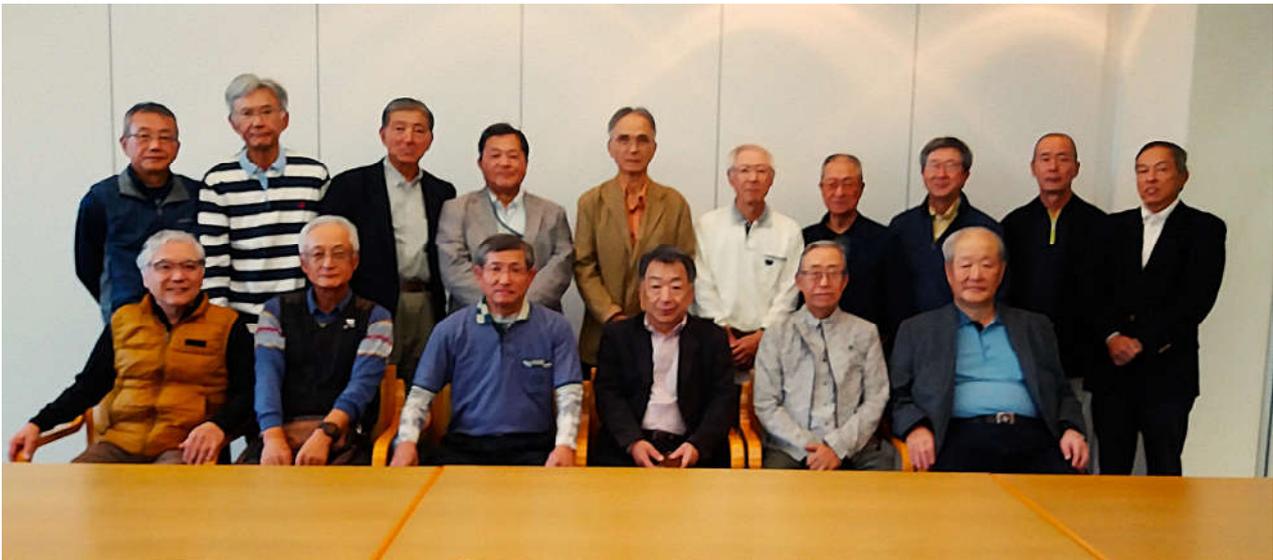
優勝は昨秋の83回でも優勝した世話人の堀内芳彦さん。このコースを知り尽くしているのか？ベスグロのほかドラコン・ニアピンもしっかりと獲得しました。準優勝はドラコンも獲得した横井修次さん。第3位はベタピン50cmにつけてニアピン・バーディを獲得した花井茂夫さん。今回は上位3名とも畜産販売出身者が独占しました。

次回は来年5月12日(月)に大宮国際CC(ちどり・しらさぎ)で開催しますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

### 【成績】

順位	氏名	とき	ひばり	グロス	HC	ネット
優勝	堀内 芳彦	40	49	89	18.0	71.0
準優勝	横井 修次	50	51	101	28.8	72.2
第3位	花井 茂夫	49	45	94	19.2	74.8

※ドラコン：岩佐肇三・斎藤順・西本周蔵・高瀬満・横井修次・徳永克弘・堀内芳彦  
 ※ニアピン：花井茂夫・堀内芳彦・川名敏夫



前列左から、並木正樹・花井茂夫・堀内芳彦・横井修次・杉村博・岩佐肇三  
 後列左から、川名敏夫・山崎周二・西本周蔵・肱岡弘典・風呂谷信俊・斎藤順・高瀬満・  
 嵯峨宏通・徳永克弘・藤本伸一

【投稿者：並木正樹】

## 東京支部 第154回湘南地区ゴルフコンペ

1. と き	2024年7月10日(水)
2. ところ	レインボーカントリー倶楽部 (神奈川県南足柄郡中井町)
3. 参加者	10名

7月10日、令和6年度2回目になる第154回親睦コンペを開催しました。今回は、ほぼ固定だった葉山国際カントリー倶楽部と鎌倉カントリークラブから離れ、神奈川県中井町のレインボーカントリー倶楽部にコースを移し、10名の参加でした。

日程設定時には梅雨が明けるか否かの微妙な時期でもあり雨を心配していましたが、空梅雨でこの日も朝からカンカン照り。スタート時には1ラウンド回れるか心配したほどでしたが、幸運にも昼頃には太陽に薄雲がかかり無事全員完走できました。

結果は、久しぶりに参加された吉田吉明さんがNET85.0で見事優勝。2位は同スコアの椎名宏行さん、3位は同じく同スコアの西馬場茂さんでした。

コンペ終了後、今後のコンペの持ち方について参加者で意見交換し、①このコースは交通の便もよく、手入れの行き届いた綺麗なコースでしたので、今後の親睦コンペで年1回は使用すること。また、②春、夏、初冬の年3回はコンペ実施の前提ですが、近年の酷暑と会員の安全を考慮し、7月～8月の盛夏時開催は避け、9月開催に変更することとしました。

次回は、ホームコースの葉山国際カントリー倶楽部に戻り、11月8日に開催予定です。

### 【成績】

順位	氏名	アウト	イン	グロス	H C	ネット
優勝	吉田 吉明	46	50	96	11.0	85.0
準優勝	椎名 宏行	44	47	91	6.0	85.0
第3位	西馬場 茂	52	50	102	17.0	85.0

- ◇ベストプロ 吉永正信 89
- ◇ドラコン 吉田吉明、菅原 渉
- ◇ニヤピン 吉永正信、太田慶徳、井貝敬太郎 (敬称略)



【投稿者:菅原 渉】

## 東京支部秋の懇親会を開催

1. とき	2024年10月24日(木)
2. ところ	ラウンドワン池袋店、焼肉本舗びゅあ池袋店(全農グループ直営店)
3. 参加者	21名

10月24日、東京支部秋の懇親会(ボウリング大会+懇親会)を池袋で開催しました。第1弾のボウリング大会には18名の会員が参加、熱戦を繰り広げました。



ボウリング開始前に集合写真

結果は百瀬支部長が唯一の300点越え(2ゲーム)で優勝。特定の順位の方と共に、賞品のJA全農たまごのお菓子をゲットしました。

ボウリングの後は焼肉本舗びゅあ池袋店に移動し、こちらから参加の3名の方を加えて第二弾の懇親会。ボウリングの結果や日頃の活動、健康状況など様々な話題に花が咲きました。



上・左 びゅあで談笑する皆さん



【投稿者:藤本 恭展】

## 人生心一つのおきどころ

子供の頃、農繁期の手伝いも終わって田んぼに出てみると、苧田の跡の豆におに赤とんぼがいっぱい止まっていた。「夕やけ小やけの 赤とんぼ 負われて見たのは いつの日か・・・とまっているよ 竿のさき・・・」の唱歌が懐かしい。

その赤とんぼも絶えて久しい。水田に生息していたヤゴ(トンボの子)が農薬で絶滅したからです。本来トンボは害虫ではなく稲にたかる害虫のウンカ(浮塵子)を食べる益虫でした。稲の苗のためにとってしまったことがトンボを絶滅させたのです。

夏の蝉の声、秋の虫の音は幼少の頃も老いた今も変わらないから、ついつい昔を思い出す。あの頃は蝉とりが大好きだった。とってかごに入れておきだけ、翌日には死んでいる。子供とはいえ、かわいそうなことをしたものです。虫の音で印象に残るのは秋の日が暮れて農作業の脱穀機の音が止むと、その静粛に一齐に賑やかな虫の音が聞こえてきたものです。そんな田舎の暮らしも遠い昔のことです。

遠い昔のことはさて置き、今を楽しく元気に生きることが先決です。聖書にあるが「楽しい心は医師と同じ働きをする」。笑いのある楽しい心こそが元気の元です。この歳になると亡くなる人や施設に入る人が多くなりますが、なんとか日常を熟して自活出来ることは有難いことです。散歩をしたり、庭の手入れをしたりして日々穏やかに暮らします。天下がひっくり返りさえしなければ先ずは安泰です。

昭和二十年の大変化の時はまだ五歳だったし、戦災を受けていない田舎で暮らしていたので食べ物にも困らなかった。小生三歳の時、父が召集されて戦争に行ったらしいのですが全く父の記憶がないから気にもしていなかった。戦争が終わって無事に帰ってきた時は父とは知らなかった。

あれから八十年なんとか無事に暮らしてきた。考えてみればあつという間の人生でした。サラリーマン時代は名古屋、福岡、東京という喧騒な大都会に住んでいましたが、若かったからそれなりに都会を楽しみ暮らしていたからいいのです。定年後の余生は茨城県の緑多い田舎に暮らし、穏やかな日々感謝しながら、世の中に大変化のないことを祈るのみです。

人生八十年、大きな自然災害にも遭ってなく幸いなことです。日々運動して食べてよく眠るよう心がけてなんとか元気に暮らしています。日常を熟し自活出来ればこそ、生き甲斐もある。

小生お酒は全く飲まない。体質的に飲めないのです。それが幸いだったと思うのは、同年代の知人でよく飲んでいたなあと思う人たちはとっくにあの世へ行ってしまった。酒は百薬の長というが、ほんとかいなと思う。でも酒粕の甘酒は飲みます。お酒での憂さ晴らしが出来ない代わりに、天風哲学が心に安らぎを与えてくれています。「人生心一つのおきどころ」です。

寒い季節、人生冬近しです。日向ぼっこを楽しむ歳になりました。ただ孫のサッカー試合の観戦だけは別で元気が出ます。昨年孫がJリーグの試合に途中出場ながら出るようになり、鹿島対広島戦で本人ファーストゴールを決め、それが久保建英氏に次いでJリーグ歴代三番目の年少者ゴールだったことでニュースになりました。しかもそれが月間ベストゴールにも選ばれ二度のニュースになり爺も益々元気が出たというものです。それで鹿島スタジアムでの試合観戦に時々出かけます。スタジアムの柱にアントラーズ各選手の等身大写真があり、孫の写真の横に並んで写真を撮ってもらうのが爺の楽しみです。怪我の多いスポーツですから怪我しないことを祈るのみです。



カシマスタジアム

【投稿者:徳田 智律】

# 名古屋支部

## 令和6年度OB会名古屋支部通常総会

1. とき	2024年4月17日(水) 10時～12時
2. ところ	名古屋共栄火災ビル3F会議室
3. 出席者	43名(実出席25名、委任状出席18名)

開会に先立ち、この一年間に亡くなられた樋口清治様、丹下正良様、中村光利様に黙祷を捧げました。

総会は、会員49名のうち出席者43名(実出席25名、委任状出席18名)で成立したことが宣せられ、川澄支部長が議長となって進められました。

### (1)川澄支部長挨拶(要旨)

本日、総会に出席いただき感謝申しあげる。コロナ禍が収まりこのように総会を開くことができ、日常が戻ったことを実感する。国会では食糧安定供給・持続的農業等の議論が進んでおり今後を注視していきたい。

### (2)報告事項

小窪事務局長から令和5年度活動および決算等について説明がされた。

野際監事から監査結果について報告がされた。

### (3)審議事項

小窪事務局長から以下議案について説明がなされ、両案とも原案とおりに承認された。

第一号議案 令和6年度活動計画について(案)

第二号議案 令和6年度予算について(案)

休憩後、農業情勢報告がされました。

(農業情勢報告)

テーマ 「未来への挑戦」～JAをめぐる情勢を斬る～

講師 株式会社全農ビジネスサポート

代表取締役社長 久保田治己 様

### (4)懇親会

総会終了後、場所を移し、割烹上明月で懇親会を行いました。

懇親会は奥田孝道様の乾杯で始まり、久しぶりの会合で盛りあがりました。

最後は、長谷川勝様の中締めでお開きとなりました。



川澄支部長挨拶



懇親会風景

【投稿者:猪子 保】

## 「食料・農業・農村基本法及び食料供給困難事態対策法」を考える会

1. とき	2024年4月4日(木)10時～12時
2. ところ	共栄火災ビル第4会議室
3. 出席者	名古屋支部有志9名(内1名はZBS所長)

### 4. 法律の概要:2月27日に閣議決定した法律の概要

#### (1)「食料・農業・農村基本法」

主文に「食料安全保障の確保」を新たに挿入

#### (2)食料供給困難事態対策法

第1段階:困難事態の発生を未然に防ぐ為に出荷の調整を「要請」する。

第2段階:前項の数量では不足する時は拡大計画の「指示」をする。

第3段階:さらに前項の数量でも不足する時はさらに拡大計画を「指示」する。

第4段階:最低限必要とする食料が不足するおそれがある時は「生産転換及び割当て・配給」を行う。

(備考)第2段階で指示に違反して計画を届出しなかった者は20万円以下の罰金。なお計画数量を正当な理由で出荷出来なかった場合は罰金の対象にはならない。併せて財政措置は第1段階と第3段階に措置する(中味は未定)。

### 5. 学者・マスコミ及びJA全中の反応

(1)食料安全保障の3本柱は「国内自給率向上対策」・「備蓄対策」・「輸入対策」であるが、旧態依然として輸入依存体質でもっとも重視すべき国内自給率向上対策に本気度が感じられない。

(2)基幹農業従事者の年齢が70歳未満で併せて埼玉県的面積に匹敵する耕作放棄地の現状等を解決する法律には程遠く、平時の対策無くして有事の事を言っても空論ではないか。

(3)もっとも厳しい食料供給困難事態になれば校庭やゴルフ場にサツマイモを栽培させて急場を凌ぐと言うが、現実的には無理では無いか。

(4)フランスのエガリム法を参考にして再生産可能な価格反映の実現を目指しているが、小売りが強い日本では困難ではないか。寧ろ防衛費に43兆円(5年間)使うなら欧米の様な生産費所得保障の「直接払い」を志向すべきである。

(5)JA全中は食料安全保障の確保及び再生産可能な価格反映等の我々の要求が反映され評価できるとコメント。

昨年の鈴木宣弘東大大学院教授の岐阜における講演会、豊田市の中甲農業生産法人の現地研修に次いでこの研修会でした。奥田会長から「我が国の食料安全保障対策は遅きに失していますが、この度の24年振りの法改正はまさに剣が峰です。これが最後のチャンスと思い今後の国会審議に注目したい。」との挨拶がありました。

我々には権力も政治力もありませんが、だからと言って食料問題に無知でいるのではなく、正確に現状を把握して子や孫やそして多くの知人・友人に伝える事も小さな役目ではないでしょうか。



【投稿者:横山 忠】

## 令和6年度名古屋支部秋の催し

1. とき	2024年11月7日(木)
2. ところ	名古屋城本丸御殿、KKRホテル名古屋
3. 参加者	21名

本日のお目当ては、まずは名古屋城本丸御殿。午前10時半に名古屋城東門前に集合し、本丸御殿に向かいました。

本丸御殿は第二次大戦で焼けてしまいましたが、江戸時代の文献や焼失前の写真、実測図等をもとに復元され、平成30年に一般公開されたものです。本丸御殿の障壁画は1600年代前半と思われるのですが、そのきらびやかさに圧倒されました。徳川将軍様がお泊りになる部屋などは、欄間・襖は金箔や超豪華な装飾で筆舌に尽くせないものでした。こんなのが延々と続きました(建物総面積3100㎡だそうです)。



その後は歩いて5分ほどのKKRホテル4階でメインの懇親会を行いました。

KKRホテルは眺望がよく、名古屋城を含み公園一帯の緑のパノラマが展開されます。さて懇親会は、ホテルですので座ってではなく、丸テーブルを囲んでの会食となりました。懇親会冒頭の挨拶で川澄支部長から、気候変動・環境政策で行動されている杉山範子名古屋大学特任准教授の講演についての紹介がありました(講演は奥田さん主宰の「さんさんの会」の企画で行われたものです)。

続いてOB会秋の催しに初参加の井口さんから挨拶をいただきました。懇親会では、皆様久しぶりに会えたこと、互いに健康であることを喜び合いました。最後は岡安さんから中締め挨拶をいただき、概ね2時間の懇親会を散会しました。



【投稿者:名古屋支部広報 猪子 保】

## 名古屋支部ゴルフコンペ

1. とき	2024年11月27日
2. ところ	愛岐カントリークラブ(グリーン:スピード11フイート)
3. 参加者	11名

26日は午後から強風で雨の天気でしたが、27日は日頃の会員の皆様の心掛けが良いと思え、快晴でした。午後からは16度前後の小春日和で、素晴らしいゴルフ日和でした。

グリーンスピードが11フイート(通常は9フイート前後)と、高速グリーンの為にパットで苦しみ、且つグリーンスピードを意識し過ぎて寄せ切らず皆さん悪戦苦闘されていました。それでも元気にラウンド出来た事に感謝です。

なお、来年12月のコンペが記念の「100回大会」ですので、それぞれ皆さんが精進される事を祈念して今年度の最終コンペを閉めました。

### 【成績】

	氏名	東	西	グロス	H C	ネット
優勝	井上 弓子	56	56	112	40	72
準優勝	横山 忠	53	48	101	28	73
ベスグロ	石垣 績宏	48	48	96	—	—



何時もの「今日はやってやるぞ」の気持ちの皆さんです。写真左から井上、赤松、石垣、川澄、後列左から松田、長谷川、野際、片山、横山、有田、小窪(敬称略)

優勝の井上弓子さんが二人のイケメン(石垣さん、横山)に囲まれて記念のショット。優勝と準優勝は1打差の大熱戦でした。弓ちゃん、おめでとう。彼女は当クラブの会計担当で何かとお世話になっています。

【投稿者:名古屋支部 横山 忠】

## 大阪支部

### 全農全国本部OB会大阪支部総会・懇親会

1. とき	2024年5月10日(金) 12:00~14:00
2. ところ	ホテル阪神大阪 エメラルドルーム
3. 参加者	21名

五月晴れの好天に恵まれた5月10日に支部総会と同懇親会を開催しました。  
実出席者21名および書面議決者91名により議案が審議されました。  
冒頭の赤崎支部長の挨拶は以下のとおり蘊蓄溢れるものでした。

#### 【赤崎支部長挨拶】

- 2023年10月ザ・リッツカールトン大阪にて秋季懇親会を開催し、直前での欠席者が数名おられました。3名の奥様を含めて28名の参加をいただきました。  
今年も、11月頃を目途に滋賀県で開催をとの役員からのご提案をいただき、昨年同様に過去に全農勤務経験のあるOB(OG)の参加をいただく企画を検討する予定です。
- 本日の議題について第4号議案について反対の方がおられると伺っておりますので、ご意見をお聞かせいただき意義ある総会としたいと思います。
- 全国本部OB会の名称変更アンケート反対意見もあるなかで決定されたようですが、支部の扱いは今後役員で協議させていただきます。  
全国では「全農わかほ会」賛成は319名、総投票792名中40.37%でした。  
大阪支部では「全農わかほ会」賛成は28名、総支部投票83名中33.7%でした。
- 今回本部の総会に大阪支部三上常任幹事がリモート参加して個人の意見を述べていただきましたが、この意見は支部役員の見解を反映したものです。本部の返答待ちの状況です。
- 大阪支部準会員制度の提案も検討しましたが、本部の入会要件の見直しでは2022年退職者から適応など大阪支部の意見とずれているのでしばらく棚上げして、秋の懇親会で参加いただく企画を当面続ける考えです。
- 支部活動の活発化について考えるうえで遠方やご多忙の事情で参加されていない会員を家族の写真など支部会員が閲覧できるように共有すれば良いのではと個人的に考えております。この総会についてもよろしければ懇親会風景を撮影させていただき試験的に本部HPに投稿をすることも考えています。

第一号議案から第七号議案(詳細別紙)まで原案どおり可決されました。

第一号～第三号議案までは定番の決算報告と活動計画と予算でした。

第四号議案は支部OB会費未納者への対応についてですが、「個人の健康状態等により参加が困難な方にとっては支部OB会費が不公平になっているのではないかと」の意見があり、今後の検討課題としました。

第五・六号議案では①役員再任の任期、②クラブ活動助成の基準を定めることとしました。

第七号議案では役員選任について提案しました。

また、その他の事項として、①長寿のお祝いは、本部は年齢規準に変更したが、支部としては変更せず賀寿の基準を継続する、②全農OGの奥様等も出席対象とするイベント参加者拡大策を継続する。の二点について説明し了承されました。

続く懇親会は柳瀬幹事の司会のもと、今年も元気に参加された湯澤哲夫様の乾杯の音頭に始まり、米寿、喜寿、古希の賀寿のお祝いをしました。また、事務局から①OB会ホームページの閲覧、②支部新企画のアンケート、二つのお願いをしました。引き続き参加者全員からの近況報告、最後は中庭での記念撮影(背景の蔦は甲子園由来のツタ)でお開きとなりました。



【投稿者:三上 裕二】

## 第288回芝楽会ゴルフコンペ

1. とき	2024年5月9日(木)
2. ところ	旭国際宝塚カンツリー倶楽部(兵庫県宝塚市)
3. 参加者	6名(湯澤哲夫氏、入江巖氏、藤井明雄氏、吉田清和氏、西川良之氏、井上成三氏)

### 【成績】

順位	氏名	アウト	イン	グロス	HC	ネット
優勝	吉田 清和	51	44	95	16	79
準優勝	入江 巖	57	49	106	26	80
第3位	藤井 明雄	60	45	105	25	80

(注)同ネットの場合は年齢順

五月晴れの心地よい陽気の下、美しいつつじに癒されながら、常連6名でゴルフを満喫し、全員無事ホールアウトしました。

優勝は安定したストロークで順当にスコアをまとめられた吉田清和氏「天気も良くて最高の気分です。明日のOB総会に初めて出席しますがゴルフの仲間を増やしたいものです」準優勝は良きライバル藤井氏と抜きつ抜かれつの熱戦を展開し、ハンデ差と一日早い誕生日に助けられて入江巖氏に「年々100の壁が高くなっているようで悔しくて。まだまだがんばらなければ」

第3位は藤井明雄氏で前日の田舎での草刈りの疲れからか午前中は最低の調子で苦戦。午後は本来の実力を発揮し好スコアでありましたが、入江氏に1日遅れの誕生日のため残念ながら第三位「午前中はゴルフを始めて以来最悪の調子でした。1日の差は重い」

次回は、6月6日(木)旭国際宝塚カンツリー倶楽部8時40分スタートで開催します。大阪支部OB会員の皆様の参加大歓迎です。希望者は西川良之氏までご連絡ください。



後列左より 井上成三氏、湯沢哲夫氏、西川良之氏、  
前列左より 準優勝入江巖氏、優勝吉田清和氏、第  
3位藤井明雄氏



満開のつつじを背にスタート前の  
素振りをしている 井上成三氏

【投稿者:入江 巖】

## 全農全国本部OB会大阪支部 秋の旅行レポート

1. とき	2024年11月12日(火)
2. ところ	滋賀県近江八幡
3. 参加者	25名

当支部では、久方ぶりに秋のバス旅行を企画し11月12日に申し分のない秋日和に恵まれ、滋賀県近江八幡へ総勢25名で行って来ました。今年もOB会に入会できなかった奥様を中心としたゲスト参加を呼び掛けたところ2名の方にご参加いただきました。

出発地点の新大阪の待ち合わせには20名を予定していましたが、1名都合により近江八幡駅集合に変更となり、19名での出発となりました。

途中京都南から京都東の間で渋滞につかまり、中継地の近江八幡駅には1時間以上の到着遅れとなりました。ただし、そのおかげで、新大阪からの集合場所変更者も無事収容できました。しかし、近江八幡駅集合予定だった1名の方が電車乗り継ぎの関係で休暇村に直行することとなりました。行きバスの中では、皆さんの近況報告を披露していただくなど和気あいあいに過ごしました。

最初の訪問地は琵琶湖に面した近江八幡の休暇村。ここで休暇村直行に変更となった1名の方が合流し、総勢25名がやっと揃いました。バスの延着もあり休暇村での昼食会は巻き巻き進行のなか、赤崎支部長の「本部と支部との交渉経過」などを中心とした挨拶で始まり、恒例となった湯澤さんの乾杯の御発声、食事は「琵琶湖八珍料理」、そして、オリジナル版の「滋賀県にまつわる三択クイズ」などに興じました。食事後には、琵琶湖をバックに集合写真を撮りました。

休暇村を後にして、和菓子の「たねや」と洋菓子の「クラブハリエ」を展開するたねやグループのフラッグシップ店「ラコリーナ」に向かいました。ここでは自然を意識した広大な敷地と建物、喫茶を楽しみ、お土産(作りたてのバームクーヘンなどが有名)なども購入しました。

最後に、時代劇の撮影に幾度となく使われている「八幡堀めぐり」の観光へ。三艘の船に分乗し歴史情緒豊かな堀端を観光しつつの船旅でしたが、観光案内は船頭さんの肉声ではなく残念ながらテープでした。

交通機関の不調などによる集合場所の変更、高速道路の交通渋滞に巻き込まれるなど、不測の事態は多々ありましたが、皆さんのご協力もあり、最終的には全行程を無事に満喫し帰路につくことができました。



【投稿者:三上 裕二】

## 福岡支部

### 第53回 全農全国本部OB会福岡支部総会・懇親会

1. とき	2024年4月23日(火)12:30～15:30
2. ところ	アークホテルロイヤル福岡天神 3階孔雀の間
3. 参加者	44名

新緑が眩しい4月23日、事務局では午前中、役員活動協力員2人の参加のもと、資料製本・封入および欠席者への郵送を行い、その後、昨年から利用しているホテル会場で座席設定、資料配付等総会準備を済ませ、出席予定者の来場を待ちました。夜間の帰宅は危険との判断から、昼間の開催です。

出席は去年の54人から大幅に減少し44人。座席は所属部門別に設定し、懇親会時に席移動を少なくする席割り。

総会は、司会進行を濱崎副支部長、湯地支部長の挨拶では「支部会員の高齢化に対応する組織運営」について説明がありました。

10年後、支部会員は140人を下回り、令和10年度には80歳以上が6割。合わせて、役員年齢層(64～74歳)は5年後には10数人となる状況。

このため、行事不参加者の年会費対応、退会予備軍の救済および弔慰金の支出業務増加対策として「弔慰金の廃止」と「積立金の停止に伴う会員への返金」、「支部の存続の可否」についても提案する等、令和7年度総会に議案化する旨の説明。また、参加の少ない「秋季親睦旅行」は令和6年度で最終回。

総会議事は令和5年度活動報告・収支決算報告・監査報告、支部規約改定(全農OB会から全農わかほ会への名称変更、役員活動協力員の選任等)、令和6年度事業計画・収支予算が原案どおり承認されました。

また、役員改選では支部長の湯地定久さん、常任幹事の安部豊さん、監事の岡敏紀さんが退任、新支部長に濱崎静雄さん(副支部長)、副支部長に日永田隆伸さん(常任幹事)、新監事として村田裕治さんが選任されました。

総会後の懇親会では、新入会の片山淳さんの紹介につづき、出席者最年長の名和務さんの乾杯に始まり、カラオケではカラオケ同好会の伊藤玉子さんの進行で、のど自慢の方々がステージに上がり、大いに盛り上がりました。



【投稿者:井上 高光】

## 福岡支部 令和6年度第2回ゴルフコンペ

1. とき	2024年9月9日(月)
2. ところ	久山カントリー倶楽部
3. 参加者	11名

### 【成績】

	氏名	OUT	IN	GR	HD	NET
優勝	緒方 康久	49	53	102	32	70
準優勝	濱崎 静雄	47	57	104	31	73
3位	有田 雄二	43	43	86	11	75

(B・G) 有田 雄二 43 43 86

令和6年度第2回ゴルフコンペを久山カントリー倶楽部で開催しました。コロナの緊急事態宣言前の令和元年11月以来、久しぶりに当ゴルフ場でのコンペでしたが、暑い日が続いていたためか参加者11名と少なかつたにもかかわらず、熱戦が展開されました。

暑い中で汗をだくだくと流しながらのゴルフだったので、表彰パーティはかき氷を食べながらになりました。優勝したのは緒方康久さん、準優勝は濱崎静雄さんでした。競いあった二人とも福岡支部ゴルフクラブの幹事です。3位とベスグロの両賞とも獲得されたのは有田雄二さんでした。

次回開催は、2024年11月19日、西戸崎シーサイドカントリークラブです。

コンペ終了後に忘年宴会を行います。

☛左が準優勝の濱崎さん、中央が優勝の緒方さん、右が3位の有田さん



参加者一同☛

【投稿者:米原 國人】

## 福岡支部 秋季親睦旅行

1. とき	2024年10月15日(火)
2. ところ	志賀島
3. 参加者	17名

酷暑の夏は終わったものの、昼間はまだまだ暑さが残る10月15日、福岡支部では秋季親睦旅行を実施しました。

博多駅から電車で約40分、もしくは博多埠頭から福岡市営渡船利用で15分、10時40分西戸崎駅改札口に集合し、昼食会場となる「まさご屋」のマイクロバスに乗り、志賀島散策へ。

志賀島は、福岡市東区に所属、博多湾の北部に位置し、東西約2km、南北約3.5km、面積約6km<sup>2</sup>、最高標高約165m、島一周約9.5kmで、砂や小石が堆積した砂州で本土と陸続きになった全国的にも珍しい陸繋島です。

当初の目的地は「志賀海神社」と「潮見公園」。「金印公園」は登りが多く、高齢者に不向きと判断し除外。

「潮見公園」は標高165mで360度のパノラマが楽しめる展望公園ですが、前日の雨により、交通に難ありと判断し取り止め。

「志賀海神社」は、古くから「海神の総本社」「龍の都」と称され、博多湾の総鎮守として崇敬され親しまれています。ご祭神は「綿津見三神(わたつみさんしん)」を祀り、交通安全・病氣平癒等の御利益があり、「遙拝所」からの海の景色は美しく、心身ともに癒やされ、人気のパワースポットとの説明のとおり、平日でしたが、多数の参拝の方々を見かけました。



集合写真

昼食の場所に向かう途中、「金印公園」「蒙古塚」を車窓から見、「まさご屋」近くの「仲津宮」に寄りました。

「仲津宮」は小高いところにあり、下り階段はしんどく感じました。木々に覆われ、薄暗かった通路を抜けると、一面の海、「玄海島」「相島」遠くに「大島」、津屋崎方面まで見渡せました。

「まさご屋」で昼食、初めに、濱崎支部長から秋季親睦旅行は今回が最後、令和7年度総会(4月開催予定)での議案承認を前提に積立金は返金予定の説明の後、参加者最高齢の永澤隆さんの乾杯で楽しい会話が弾みました。飲み物は1人にビール1本の予定でしたが、焼酎を追加注文した次第です。

帰りはマイクロバス利用で西戸崎駅へ、電車・渡船で思い思いに帰路につき、秋の一日を楽しく過ごしました。

【投稿者:井上 高光】

## 全農本所養鶏部第11回OB会

1. とき	2024年4月9日(火) 15:00～17:00
2. ところ	大手町 上海料理「佳樹園」
3. 参加者	12名(登録会員39名)

### 4. 内容:

#### (1) 養鶏部OB会の歴史

- ① 本所養鶏部は、昭和30年代、全農合併前の全販連時代に、養鶏課・鶏卵課・食鳥課の3課で発足。
- ② 昭和30年代後半、全国に3採卵系種鶏場(デカルブヒナ: 栃木・滋賀・佐賀)と食用系種鶏場(ブロイラーヒナ: 滋賀県八日市)を開設。
- ③ 昭和40年代前半に、三重県菰野市に「全国養鶏センター」を開設。
- ④ 昭和48年、全購連と全販連が合併し、その後の機構改革で、ヒナは畜産生産部へ、鶏卵と食鳥は畜産販売部へ移管され、廃部となりました。
- ⑤ 平成22年に旧本所養鶏部のメンバー10数名が集まり、第1回OB会を開催。
- ⑥ その後、関東在住の支所養鶏課経験者や4種鶏場経験者が加わり、平成25年の第4回OB会では、総勢40名の会員規模となりました。
- ⑦ 令和元年の第10回OB会を最後に、コロナの関係で、今回は5年ぶりの開催となりました。
- ⑧ この間、6名の会員(井島 栄治、岡本 安光、小野口武、国分 久正、千葉 とよ子、長谷川 明子各氏)が亡くなり、残りの会員全員が後期高齢者となり、OB会開催を今回で幕を閉じることとなりました。

#### (2) 懇親会

- ① 向井事務局長の開会では、まず物故者6名に対する「黙とう」をしてスタート。
- ② 次いで、山内代表幹事(養鶏課出身)の挨拶で解散発表。
- ③ 荒井代表幹事(鶏卵課出身)の乾杯音頭で懇親会スタート。
- ④ 途中、事務局でお願いした「佳樹園」のママさんが登場！旧JAビル地下で、夜な夜なお世話になったママさんは、30年経った今も変わらず美人のままで「女は化け物！」と、再会を共に喜びました。
- ⑤ 現役時代は、全員「大酒飲み」だったつわものも、全員75～84歳となり、酒量は激減しましたが、「これが最後の出会い」になるかも？と、近況報告では50年前の若き時代の思い出話に熱が入り、出てきた上司や同僚の名前に外野席から「あいつ、今どうしてる？生きてるか？死んだか？」と繋がり、2時間の制限時間内に収まるかと、事務局は冷や冷や。
- ⑥ 特に話題となったのは、「マレック事件(鶏用医薬品)」と、「平塚七夕祭りのデカルブ雄ヒナを着色して道端販売した」で、悲喜こもごもの思い出に浸っていました。
- ⑦ 近況報告11番目の山内代表幹事が、「解散としたが、今日集まったメンバーだけでも元気なら、来年も集まりたいですねー！」の発言。最後の小生(都築)の近況報告で、「継続の動議が出たが、誰が事務局やるの？」に対して、すべての人が「お前しかおらんやろ！」(笑)
- ⑧ 制限時間5分前に、斎藤代表幹事(食鳥課出身)の「中締め」で無事終了し、内藤会員のカメラマンで集合写真を撮り、閉会しました。もうこの年齢では「2次会」への元気はありません。「あの世で会いましょう！」皆さんありがとうございました。



前列左から 都築中道、向井長太郎、内藤勝義  
後列左から 宮地淳雄、平瀬正一、山内光一、荒井真人、八矢彰、斎藤昌己、野見山醇、渡辺武夫(敬称略)

【投稿者: 都築 中道】

## 「園芸808会」 第37回総会・懇親会

1. とき	2024年5月17日(金) 13.30時～16.00時
2. ところ	吉丸屋神田店(JR神田駅西口)
3. 参加者	25名

夏の日差しを感じる快晴の昼下がり、25名の出席者により「園芸808(ヤオヤ)会」がコロナ禍を経て4年ぶりの実出席での開催となりました。

松嶋道雄(47年)代表(写真右)の挨拶で始まった総会は、内匠久和(45年)前代表が議長になり村山盛繁(47年)事務局長の議案説明ののち質疑応答を経て、満場一致で全議案が承認されました。



園芸808会は、1988年5月に「園芸問題研究会」として発足して36年目となります。この間に2006年の総会で規約改正が行われ、「園芸808会」と名称を変更して純粋な親睦会として新たなスタートを切って今日に至っています。

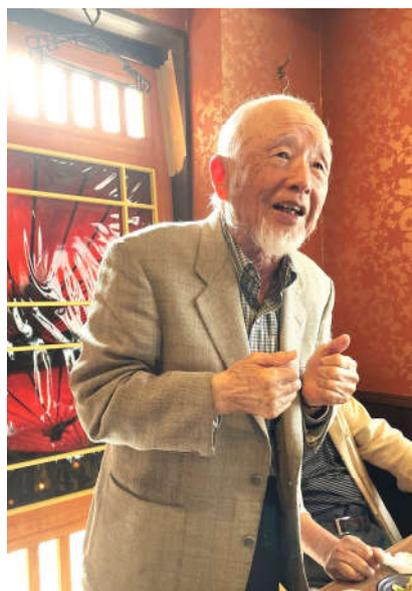
会員数は漸減傾向で推移し、総会当日現在の会員数は53名、内訳は70歳未満会員16%、70歳～80歳未満会員47%、80歳以上の会員は37%となっており、70歳以上の高齢会員が全体の84%を占めています。

会員の高齢化により従来実施していた一泊行事や懇親会などへの参加者が特定の会員に限られる傾向になってきたことから、活動費用負担の公平性を考慮して年会費制を廃止し参加者の実費負担制に変更することとなりました。

なお、今回の規約改正で最後の総会となりましたが、今後の活動については、従来と同様に年2回の懇親会なども継続することが報告されました。

引き続き行われた懇親会は、出席者最高齢の増井一夫氏(85歳)の乾杯の発声で4年ぶりの和気藹々とした雰囲気の中で現役時代に思いを馳せ、話の輪が広がり瞬く間に2時間が過ぎ去りました。

梶原富男氏(85歳)(写真下)の締めの方歳三唱で会を閉じて次回の再会を約して解散しました。全農現役時代に鍛えた飲みっぷりは年齢を重ねても衰えず、飲み放題プランの元はしっかり取ったようです。



【投稿者:75年入会 奥野 和雄】

## 第31回農機友の会総会

1. とき	令和6年(2024年)5月29日 12:00~14:00
2. ところ	北海道大手町店(KDDIビル)
3. 参加者	会員23名、来賓(全農)1名

風薫る5月、第31回の農機友の総会が開催されました。コロナで開催時期が不規則になっていましたが、今年度から通常の実行サイクルに戻り、5月の開催になりました。

当友の会は会員数93名で、会員は関東地区を中心に福岡や岡山、関西地方にお住まいです。最高齢は97歳の大先輩、平均年齢77.1歳の農業機械部門OB会です。今回は23名の参加を得ました。

総会は鈴木道夫世話人会代表のご挨拶ののち、物故者9名に黙祷を捧げました。続いて新入会員のご紹介、活動報告や会計報告を行い滞りなく終了し、懇親会へと進みました。

懇親会は、まず来賓の耕種資材部名取農機専任部長からの情勢報告をいただき、農機事業の概況や好調だった全農の決算案等のお話を伺いました。続いての乾杯は遠路高崎市からお越しいただいた砂盃(いさはい)氏(89歳)にご発声をいただき、その後は各テーブルで昔話や近況報告、不健康自慢の話で大変活況でした。

年一回の集まりですが、先輩・後輩そして同期の皆さんと昔話や近況について語り合い、元気を貰える会です。次回は、ほぼ同じ時期に開催予定なので、今回参加されなかった方も含め多くの方と楽しい時間を過ごしたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

なお、今回の総会で八木千春さんが新しい世話人会代表となりました。引き続き農機友の会をよろしくお祈りします。



【投稿者:世話人 上野 一彦】

## 第23回飼料畜産部門OB・OG会(SOS会)

1.とき	2024年6月7日(金) 15:45～17:45
2.ところ	魚海船団 神田司町本店
3.参加者	42名(会員数123名)

### 4.内容

- (1) 5年ぶりの開催で多少不安がありましたが、ほぼ前回並みの42名の参加をいただきました(前回は41名)。ありがとうございました。
- (2) 総会后、全農畜産生産部三浦次長から情勢報告をいただき、引き続いて名古屋からご参加の横山忠さんによる乾杯でスタートした懇親会は、5年ぶりということもあり大いに盛り上がりました。
- (3) SOS会は原則として毎年6月第1金曜日に開催することになっています。次回からは平位会長以下、新体制のもと開催させていただくこととなります。来年もご案内させていただきますので、ふるってご参加ください。



【投稿者:SOS会 服部 隆一】

## 「資材友の会」を5年ぶりに開催

1. とき	2024年9月5日(木)12:30～
2. ところ	北海道 大手町店
3. 参加者	30名

包装資材や園芸資材、施設事業などのOB会「資材友の会」を9月5日(木)12時30分から5年ぶりに北海道大手町店で開催しました。新型コロナの感染拡大により開催を自粛していましたが、世話人代表の体調不良などもあって延び延びとなり、今年ようやく開催することができました。

「資材友の会」は現在60名ほどの会員数となっていますが、この5年の間に10名がご逝去されました。開催の冒頭に皆で黙祷し故人を偲びながらの開催となりました。

5年ぶりの開催ということもあり、どれくらい参加していただけるのか不安でしたが、30名の参加を得ることができました。九州や関西、北陸など遠方からも参加いただき、和気藹々とした時間は瞬間に過ぎ、次回を来年6月第2木曜日に開催することを決めてお開きとなりました。

5年ぶりの開催で事務局の不手際等もあったかと思いますが、来年もご参加いただきますようお願いいたします。皆さまお元気で。



【投稿者:資材友の会世話人 手嶋 章宏】

## 経理部OB会を開催

1. とき	2024年9月27日(金)
2. ところ	梅蘭(御茶ノ水ワテラス)
3. 参加者	14名

当日はあいにくの雨、場所も少し分かりにくかったこともあり、来店に時間を要した方もおりましたが、予定通り12名のOBが参加されました。前年も参加いただいた方が8割でしたので、来年は若手OBの参加も期待したいところです。財務部からは高井部長と統括課沖野さんの2名に参加いただきました。

三浦会長の開催挨拶のあと、高井部長からは現在の財務部の人数・年齢構成、県本部からの経理業務の移管状況等の報告をいただきました。

OB会事務局からは参加できなかったOBの状況報告と、来年以降は開催日を9月の最終金曜日にすることを提案して、会員から了承をいただきました。



都築中道さんの乾杯の挨拶で懇親会がスタートし、OBには少し多めの料理を飲食しながら談笑し、懇親会の後半には参加者の皆さんから近況報告をいただきました。

仕事をしている方、散歩を日課にしている方、家事を頑張っている方、農作業、地域活動、ダンス、卓球、ゴルフ、スポーツジム、旅行をされてる方々と色々報告いただきましたが、皆さん健康寿命を延ばすために、体と頭を使う努力をされているようでした。

最後に、小森芳夫さんに中締めをしていただき、来年も再会することを誓って散会しました。

【投稿者:佐藤 泰】

## 第37回農産会を開催

1. とき	2024年10月17日(木)14時30分～16時45分
2. ところ	佳樹園(JAビル地下1階)
3. 参加者	26名(OB21名、現役5名)

昨年(4年ぶり)同様、JAビル地下の同じ場所での開催となりました。直前までは28名の出席予定でしたが、OB2名が体調不良や急用のため欠席となりました。

冒頭、この1年間の物故者(高岡八郎氏、古屋龍彦氏、尾崎進氏)に対し黙祷したあと、新濱晴美会長が開会挨拶(写真下右)、続いて来賓として今年7月に新たに選任された全農金森正幸常務から自己紹介と麦類農産部の情勢報告をしていただきました(写真下左)。



(上)年長者の面々(立っている人左から、杉谷信一氏、中谷博氏、新濱会長、野口卓治氏、座っている人左から、平中剛太郎氏、山本和成氏、村上不二夫氏、今川直人氏、土谷高稔氏)

出席最長老の平中剛太郎さんの発声で乾杯(写真上左)、賑やかに宴会が始まりました。楽しい時間は過ぎるのが早く、あっという間に中締めとなり、村上不二夫さん(写真上中)の音頭で、来年も元気な姿での再会を祈念して一本締めで閉会しました。

最後にいつも差し入れ等ご協力をいただいている麦類農産部に対し厚くお礼申し上げます。特に今年は、能登地方の2度にわたる被災に対し、少しでも支援につながるよう石川県のお酒を提供していただきました。重ねてありがとうございました。

【投稿者:平賀 亮】

## 第60回「薬友会」、5年ぶりに開催される！

1. とき	2024年11月22日(金)13時～15時30分
2. ところ	銀座ライオン・大手町ビル店
3. 参加者	30名

11月22日、5年ぶりに「薬友会」(農薬業務に関わった方のOB会)総会と懇親会を開催しました。「薬友会」は今年(2024年)で40周年を迎えました。会員数は99名。コロナ禍で、連絡がつかない人も多く、参加者は30名にとどまりました。

石井代表の挨拶、川名さんの会計報告と続き、新しい世話人会の紹介です。世話人代表として、小田敏晴さんが指名され、拍手で承認されました。

来賓挨拶として、全農・耕種資材部長、高橋正臣さんから、日本と世界の農薬情勢、全農の業績、全農・農薬原体の状況について話がありました。会員の皆さんは、興味深くその話を聴きました。

懇親会の始まりです。乾杯の音頭は、ZMクロッププロテクション(株)社長・住田明子さん。久しぶりに再会する人も多く、現役時代のエピソード、近況報告、ゴルフや野菜作りなど趣味の話題、健康問題にまで及び、話は尽きません。

盛会をもって懇親会は終了しました。

来年度は、2025年11月21日(金)午後1時からを予定しています。来年、また会いましょう！

今年来られなかった人、連絡できなかった人のご参加を、是非ともお願いいたします。



※ご連絡は、薬友会事務局  
(クミ協)・武田まで。

メール:yakuyuu@kumikyo.com



【投稿者:鷺山 雄二】

## 「ねんりん友の会(全農総合エネルギー部OB会)」第18回懇親会

1. とき	2024年11月26日(火)15時～17時
2. ところ	KKRホテル 丹頂の間(千代田区大手町1-4-1)
3. 参加者	OB29名、来賓12名(計41名)

新型コロナウイルスによる影響も落ち着きをみせ、社会経済活動も通常どおりとなりつつある中、当OB会は昨年引き続き懇親会を開催しました。

4年振りに開催した昨年に比べると参加人数は若干減少しましたが、会員の皆様、約1年振りの再会を楽しみにされており、積極的にご参加いただく中、定刻どおりに懇親会は始められました。

冒頭、平井信弘世話人代表(写真下左)および、全農の尾本英樹常務理事(写真下右)のご挨拶をいただいた後、神代誠様の乾杯唱和で、懇親会は盛大に幕を開けました。



和やかな雰囲気の中、会員間の活発な交流がはかられ、楽しい時間はあっという間に過ぎてゆきました。

最後は、日頃のご健在ぶりをうかがえる、柴田昭三様の元気一杯の中締めにより幕を閉じ、名残惜しさの残る中お互いの再会を誓い解散となりました。

なお、総合エネルギー部様のご配慮により二次会も開催され、そちらに足をのばされた会員の方もいらっしゃったようです。皆様のご健在ぶりがうかがえました。



【投稿者:ねんりん友の会事務局】

## 昭和53年入会 同期会

1. とき	2024年3月19日(火)12:00～
2. ところ	東京大手町KDDIビル「北海道」
3. 参加者	21名

長い4年間のコロナ禍を経て、久しぶりの同期会を呼び掛けたところ、21名の参加を得て楽しく盛り上がる事が出来ました。

久しぶりに再会する同期も多く、「今は年金生活で趣味を満喫している」、「夫婦で旅行を楽しんでいる」、「田舎の墓や家終いを済ませた」、「老親の世話で実家を行き来している」、「まだ元気に仕事を続けている」、「体調を崩してしまい今だ快復途上」等々・・・。

個室を貸切り、飲み放題と食べ切れないほどの料理で、2時間半近くお互いの近況報告に花を咲かせました。

次回開催は晩秋の頃、また元気な姿での再会を約束して散会しました。



後列左から: 嗟峨宏通・難波隆夫・高橋次夫・壺岐昌弘・長澤和雄・山崎周二・平位修一・江里口幸弘・川名敏夫・野口憲二・稲垣伸司・松田克文)

(中列左から: 小池一平・平井信弘・山口勇司・櫻田康夫・並木正樹・鈴木俊博)

(前列左から: 堀内芳彦・大杉祐一・栗林幸弘(敬称略))

### 【なごみ会ゴルフコンペ】

前日の18日(月)には大宮国際CCでゴルフを満喫するはずが、朝から風速10メートルを超える強風に見舞われて苦戦の連続。それでも11名全員が何とかホールアウトしました(今回のスコア掲載は控えることとしました)。

優勝: 松田克文、準優勝: 堀内芳彦、第3位: 並木正樹

【投稿者: 並木正樹】

## 1975年同期会(ゴマル会)開催報告

1. とき	2024年4月24日(水)15時～
2. ところ	すし屋銀蔵秋葉原本館
3. 出席者	27名(男性21名、女性6名)

2012年の還暦を機に開催した昭和50年組同期会は、四年ごとのオリンピックイヤー(閏年)の2月29日を定期開催日として開催しています。2016年の同期会では我々の採用担当者だった加藤一郎元専務と出石幸子先輩をゲストにお招きし開催しました。

前回の2020年は新型コロナウイルス感染症拡大により、開催直前でドタキャンという状況に追い込まれ、再開できないまま8年の歳月が流れました。コロナ前の日常生活に戻ったことや、同期の何人かから「今年は開催しないのか」と催促とも確認とも思える年賀状を受け取り、前回に引き続き幹事を引き受けざるを得なくなりました。連絡先の再整理や確認に手間取り、2月29日の開催は断念したものの、ようやく4月24日の開催に漕ぎ着けました。

当日は朝からの雨にもめげず、福岡市、山口県美祢市、彦根市、新潟県糸魚川市、甲府市など全国から男性21名、女性は関東近郊から6名の27名の同期が元気な顔を見せてくれました。

男性陣は古希を過ぎ、女性陣も古希を目前にしての開催となりました。また、コープビルが解体されるなど現役当時の懐かしい大手町や神田の風景や環境も大きく変貌しました。

開会冒頭にはこの間に鬼籍に入った、秋田俊毅、関水賢司、千々和宗樹、原耕三、野月政雄、谷本耕一の六氏に黙祷を捧げ、神出元一君の乾杯の発声で開宴。幹事が用意した名札を頼りに、あっという間に8年の歳月の溝を埋めることができ、話の輪が広がりました。



同期の近況や前回のスナップ写真などを簡単な冊子にとりまとめ出席者全員に配布し、それを手がかりに話の輪が会場のあちこちに広がり、あっという間の2時間でした。

最後は、富士研修所の新人研修時に毎朝目覚まし代わりに流れていた農業協同組合歌「明日の大地に」を岩澤新治君のリードで大合唱し、山中暁君の中締めでお開きとなりました。

短い時間でしたがあの頃に思いを馳せながら、お互いの元気とパワーを交換し合って明日からの日々を元気に過ごす充電の場となりました。

来年4月には入会50年という大きな節目を迎えます。4年先とは言わず元気なうちに会っておきたいという声が聞こえるなか、散会となりました。肝心の幹事は決まっています。

【投稿者:奥野 和雄】

## 1978年入会同期 第34回なごみ会ゴルフコンペ

1. とき	2024年9月18日(水)
2. ところ	大宮国際カントリークラブ(埼玉県)
3. 参加者	11名

9月も下旬になるというのに、コンペ当日の午前中は高齢者に過酷な36℃を超える猛暑、午後は一転して遠くに雷鳴がとどろき時折小雨が降るなか、なんとか無事にホールアウトすることが出来ました。

優勝は最近80台を連発している嵯峨宏通さん。グロス87の好スコアで、他の同期を寄せ付けずブッチギリの優勝。もちろんベスグロも獲得しました。上位を独占した嵯峨・並木・川名の3名はいずれもコースを知り尽くした大宮国際CCの会員メンバーでした。

懇親会席上では、傘寿(80歳)を迎えるあと10年ぐらいは、健康に十分留意して元気にみんなでゴルフを楽しみたいものだな、と盛り上がりました。

次回は来年3月17日(月)に霞ヶ浦国際ゴルフコース(茨城県)で開催します。

### 【成績】

順位	氏名	ひばり	とき	グロス	HC	ネット
優勝	嵯峨 宏通	47	40	87	20	67
準優勝	並木 正樹	48	44	92	22	70
第3位	川名 敏夫	52	47	99	29	70

※ベスグロ:嵯峨宏通

※ドラコン:宮園勲・堀内芳彦

※ニアピン:堀内芳彦



<スタート前は元気な笑顔!!>

前列左から、藤本伸一・坂井達弥・並木正樹・堀内芳彦・山口勇司

後列左から、嵯峨宏通・宮園勲・松田克文・山崎周二・高橋次夫・川名敏夫(敬称略)

【投稿者:並木正樹】

## 1979年同期会 第10回たわし会ゴルフコンペ

1. とき	2024年11月6日(水)
2. ところ	大宮国際カントリークラブ
3. 参加者	10名

翌日は立冬、暦の上では秋の終わりでしたが一日中曇り空で気温も低く初冬の気分。参加者はそれなりの服装を準備してきましたが、ちょっと寒かった。

ゴルフ当日はアメリカ大統領選挙の開票速報中継、どうやらトランプ氏が優勢でこれからの日本はどうなるのか？一瞬脳裏をよぎったが、それよりもゴルフファーストということで全員がプレイに集中していました。

優勝したのは椎名さん。いつも安定したゴルフで入賞の常連ですが、新ペリアのハンデが付きすぎて、椎名さんより良いスコア(グロス)の人達からブーイング！

たわし会開催も10回を数えたが、優勝者は特定のメンバーに固定された状況が続いている。アメリカ女性大統領のガラスの天井のように、スコアがグロス100前後かそれ以下の参加者にとっては、優勝を目指すものの新ペリア方式という壁の前にいつもはね返されてきました。

恒例の電車組有志による2次会で、筆者などが「自分が優勝できない」新ペリア方式を変更してはと愚痴りましたが、集計作業の煩雑などを理由にその場限りの話となりました。

次回第11回の開催は5月下旬頃の水曜日を予定、具体的な日程調整は事務局一任で4月上旬までには確定させます。

### 【成績】

	氏名	しらさぎ	ちどり	グロス	ハンデ	ネット
優勝	椎名 宏行	42	51	93	22.8	70.2
準優勝	荒波 隆一	47	45	92	16.8	75.2
三位	小手川 励人	42	48	90	14.4	75.6

\* ベスグロ 水掬文明 43 46 89

\* ドラコン 鈴木盛夫、椎名宏行

\* ニアピン 田島一男、水掬文明 ※2ホール該当なし (敬称略)



前列左から田島一男、  
富谷尚博、椎名宏行、  
水掬文明、平賀亮  
後列左から、巻渕進、  
荒波隆一、押尾栄一、  
小手川励人、鈴木盛夫  
(敬称略)

【投稿者:平賀 亮】



## 全農わかほ会事務局から

2025年 明けましておめでとうございます

2024年4月総会で会長の交代、2024年6月には会の名称が20年間続いた「全農全国本部OB会」から「全農わかほ会」へと変更されました。それに先立ち、5月には事務局を下記へ移転しました。事務局は金融機関等への「名称」「代表者(会長)」「住所」と3つの変更届出、引越しなどで未曾有の事態でした。同じ組織なのですか？と真顔で質問されたことも屡々ありました。ここにきて、ようやく少し落ち着きが戻った感があります。

しかし、本当の改革はこれからです。会員の高齢化、入会者の減少など克服しなければならない大きな課題が山積しています。事務局の2名は役員でもあり有言実行する立場から、企画・提案、ホームページ等による情報提供など、会の発展のため微力ながらも務めてまいります。

本年もよろしく願いいたします。

★「全農全国本部OB会通信」の名称は会の名称が「全農わかほ会」へ変更されたことに伴い、この第227号から「全農わかほ会通信」に改名し発行させていただきました。

現規約では「OB会通信の発行」となっているため、2025年総会に「会報の発行」に規約改定するよう提案する考えです。ご理解を賜りたいと思います。

★住所、勤務先の退任・退職などの変更・修正は、お早めに事務局へ連絡ください。

住所変更は「郵便局に届けてあるから大丈夫」と思われている方が多く見受けられます。会報や総会議案書等は郵送ではなくクロネコヤマトDM便でお届けしているため、宛先不明で事務局に戻されてくるケースが後を絶ちません。事務局への電話等による連絡をお忘れなくお願いします。変更届出用紙はホームページ「本部・支部だより」の「規約・規則等」の掲載欄からもダウンロードできます。

★エンディングノートを作成されている方もそうでない方も「もしもの時の連絡先」の作成をお勧めします。そこには下記事務局も是非記入しておいてください。

### 全農わかほ会(旧全農全国本部OB会) 事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7 名古路ビル本館7階

事務局 本江 育雄

藤本 恭展

TEL 03-6384-0347 FAX 03-6384-0348

e-mail : [jazenkoku@zennoh-ob.jp](mailto:jazenkoku@zennoh-ob.jp)

### 全国農業協同組合連合会

〒100-6832 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル

総務人事部 総務課 (全農わかほ会担当)

TEL 03-6271-8111 FAX 03-5218-2510